

医療の質・安全学会

第4回学際的医療研究のための入門講座 「医療と情報」 ご案内

主催：医療の質・安全学会 学際共同研究推進委員会

協力：(株)日立製作所 デザイン本部

第4回入門講座は「医療と情報」に照準を合わせます。急速に電子化が進む医療の現場において今さまざまな問題が出始めています。電子カルテや統合型オーダーリングシステムという電子情報化がなぜ、どんな問題をひき起こしているのか、そもそも医療の現場で必要とされ利用されている「情報」とは何なのか、さらには「誕生前の母子手帳から死亡証明書まで」一人の人の身体健康をめぐる情報全体を「本来は」どのようにとらえていけばよいのか、またその集合体である医療従事者の手元に残る多くの「情報」をどのように考えるべきなのか。今回は「個人情報とその利用」についての第一人者である牧野二郎弁護士にもお話を伺いながら、考えていきたいと思えます。グループ討議・全体ワークショップの成果は、2010年11月の医療の質安全学会学術大会でのシンポジウムにも展開していく予定です。

記

日時：2010年9月10日（金）9時15分～11日（土）17時

場所：(株)日立製作所 デザイン本部

東京都港区赤坂5丁目3-1(赤坂Bizタワー)

地下鉄千代田線 赤坂駅 徒歩1分／銀座線丸の内線 赤坂見附駅徒歩5分

※詳しい場所ならびに入館方法については参加者に後日ご連絡いたします。

テーマと講師：(敬称略)

・診療情報とは何か 脇田紀子(聖路加国際病院医療情報センター)

・医療の現場に必要な患者情報とは何か

福井トシ子(杏林大学病院看護部長)

・医療情報の二次利用

澤智博(帝京大学医療情報システム研究センター)

・医療の情報と個人情報

牧野二郎(牧野総合法律事務所)

対象：医療研究に興味を持つ社会科学系(社会学・心理学・認知科学ほか)

ならびに理工学系(情報科学, 人工知能, 人間工学ほか)の研究者。

あるいは、本テーマに関連して非医療系研究者との学際的共同研究に

興味を持つ医療関係者, 研究者。

併せて 30 名程度.

- ・ 原則として、全日程に参加できる方を優先いたします.

参加費：9月10日懇親会費，ならびに9月11日昼食を含みます.

学生(大学院生を含む) 3,000 円

一般 6,000 円

スケジュール(予定 変更の可能性があります)：(敬称略)

1 日目 9月10日(金)

0900-0915 受付

0915-0930 主旨説明と事務連絡

0930-1115 診療情報とは何か 脇田紀子(聖路加国際病院医療情報センター)

1115-1130 休憩

1130-1315 医療の現場に必要な患者情報とは何か

福井トシ子(杏林大学病院看護部長)

1315-1415 昼食(各自)

1415-1600 医療情報の二次利用 澤智博(帝京大学医療情報システム研究センター)

1600-1615 休憩

1615-1800 医療の情報と個人情報 牧野二郎(牧野総合法律事務所)

1800-1815 事務連絡+WSにむけて(概略説明, 電子カルテ案内)

1815-2030 懇親会

2 日目 9月11日(土)

0915 集合・入館

0930-1130 WSのための話題提供(予定)+グループ分け

- ・ ユーザエクスペリエンスからみた電子カルテ

河崎宜史(日立デザイン本部)

- ・ 電子カルテをめぐるパイロット研究

南部美砂子(はこだて未来大)

原田悦子(筑波大学)

1130-1230 昼食

1230-1430 WS-分科会

1430-1700 分科会報告と全体討論

1700-1710 closing remark

応募締切：2010年8月5日(木)午後5時

詳しい応募方法等については、下記をご参照ください。

<http://qsh.jp/100910colab.html>